



西多摩の山は、ヤマザクラなど野生のサクラが全国でも特異的に多く自生している地域です。2004年には多摩丘陵でエドヒガンの自然雑種交配したサクラが「ホシザクラ」として新品種に登録されました。

一般的なサクラの幹は、写真①のように横向きの模様がでますが、エドヒガンは、写真②のようにコナラのような縦向きの模様がでます。しかし、サクラの種類を識別するのはとても難しく、写真②のサクラについても写真③の花を見るとエドヒガンではなく、ヤマザクラと交配してできた種類に見えます。

写真②、③のサクラは、雑種交配したエドヒガンだと考えています。写真③では、がく(○)が膨らんでいるように見えますが、純粋なエドヒガンのがく筒の膨らみはもっとはっきりしています。

あきる野の山中でも、たくさんの野生種が自生しているので、エドヒガンもあると思いますが、まだ見つかっていません。私には、山中のエドヒガンは幻のサクラです。

神代桜(ジンダイザクラ)などの名称で、サクラの古木が全国で保護されていますが、中には樹齢1000年を越し、天然記念物に指定されているサクラもあります。そのほとんどがエドヒガンで、長寿なサクラの代表です。

この先200~300年は育つサクラなので、あきる野でも山中のエドヒガンを見つけたときに、適切に保護、保全できれば、素晴らしい自然を次世代に繋いでいくことができると思います。



※エドヒガン
名前から栽培品種と
思っている方もいるか
もしれませんが、野生
種のサクラです。
このサクラは、オオシ
マザクラと交配して「ソ
メイヨシノ」が誕生した
ことで有名です。

皆さん、知ってます「カスミザクラ」



山肌にピンクのヤマザクラが満開になった後に、やけに白っぽいサクラが咲きます。花の量は他のサクラに比べて少ないのですが、5月のゴールデンウィーク前半まで楽しむことができるサクラです。

ソメイヨシノの花見は、肌寒い季節ですが、カスミザクラは、暖かくなってくる4月後半に楽しむことができます。しかし、花が上向きに咲くので、木の下に行っても芽吹いた葉が邪魔になることもあり、宴会には不向きですが、遠景で眺めると、その白さが印象的です。



秋川丘陵ふれあいハイキングコースの変更

旧サマーボウルから五日市カントリークラブまで、東京サマーランド上の尾根道コースに大きな変更がありました。旧サマーボウルの工事もあり、現在は、八王子市の戸吹からのルートになっています。

また、電留山周辺で、東京サマーランドが森の整備を進めています。概ね伐採や植栽などは終わっています。時折、工事車両が走ることがありますが、平坦で楽しく歩けるコースです。



今年の5月は、雨が少なく、ハチが大きな巣を作っているかもしれません。ハチに注意して楽しく歩いてください。

(杉野)